

教科の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

学習内容

	主に学習すること	主な学習の目標
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の足／質問する力をつける／タオル／ ・文法／新聞の投書を書く／漢字 ・書写（硬筆） ・日本の花火の楽しみ／水の山 富士山 ・説得力のある提案をする。／敬語／構成を明確にして手紙を書く／言葉と社会 ・夢を跳ぶ／言葉／観点を明確にして伝える／SNS から自由になるために／脚本で動きを説明する／読書／漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品中の表現を通じて五感を磨き、語彙を豊かにする。表現の効果を考える。 ・伝え合う内容を検討してよりよい質問をする。 ・活用のない自立語のはたらきを理解する。材料を集め社会生活の中から題材を選んで書く。似た漢字や間違えやすい漢字の理解を深める。 ・筆者の説明の仕方の特徴を比べて説明の意図を捉える。 ・話の構成を効果的に組み立てて話す。意見と根拠を分けて話す。 ・適切に言葉を選んで書く。 ・課題に応じて資料をさがし、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 ・集めた情報を適切に活用して課題を解決する。資料を用いてわかりやすく伝える。 ・小説と脚本の違いを理解し小説を脚本に書き換える。 ・文章の全体と部分の関係を理解し、筆者の主張を読み取る ・論理的で分かりやすい構成を考えて説明する ・自立語の働きを理解する。 ・多様な文章から情報を得て、自分の考えをまとめる。 ・点画の省略、筆順の変化、に注意して書く。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な未来を創るために／紙の建築／読書／根拠をもとに意見文を書く／文法／漢字 ・敦盛の最期／随筆の味わい／二千五百年前からのメッセージ／ ・短歌の味わい／夏の葬列／映像作品の表現を考える／漢字 ・ガイアの知性／記事を書く／相違点を明確にして聞く [書写] ・行書の書き方／書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動しようとする態度を育む。 ・具体例から主張を捉える。 ・多様な考え方があつた問題について根拠をもとに推論して考え、意見文を書く。 ・活用のある自立語について理解する。 ・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ・内容について自分の考えをまとめる。音読や暗唱で漢文の表現になれる。 ・情景や心情を掘り起こし、短歌を声に出して読む。 ・人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ・時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ・絵コンテを構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ・漢字の多義性についての理解を深める。 ・主張につながる推論を捉える。 ・わかりやすく伝わるように文章や見せ方を工夫する。 ・論理の展開に注意して聞く。 ・行書と仮名の調和や中心線に注意して書く。

三期	・学ぶ力／よりよい結論を導く討論をする／言葉と社会／文法／漢字 ・豚／走れメロス／言葉／連作ショートショートを漢字	・述べ方から主張を捉える。 ・結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ・付属語の特徴を捉える。 ・詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。 ・抽象的な概念を表す五区の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ・人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。 ・類義語、対義語、同音語について理解する。 ・同音の漢字について理解を深める。
----	--	--

評価の方法

3つの観点を(A), A, B, (C), Cの5段階で評価します。ただし、通知表はA, B, Cの3段階で通知されます。

(A) : 十分に満足できるもののうち特に程度が高い A : 十分満足できるもの

B : おおむね満足できるもの (C) : 努力を要するもの C : 一層努力を要するもの

①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

②思考力, 判断力, 表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

③学びに向かう力, 人間性等

ノート・ファイル等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗誦テストなどをもとに評価します。